

趣 意 書

本会、「NIIGATA ALBIREX バスケットボール後援会」は「新潟アルビレックスBB」および「新潟アルビレックスBBラビッツ」が世界一のプロバスケットボールチーム、クラブチームになるために、また、新潟県におけるバスケットボールの健全な発展、スポーツ振興をはかるために、その活動を物心両面から支援して参りました。

「新潟アルビレックスBB」は日本初のプロバスケットボールチームとして、「新潟アルビレックスBBラビッツ」はトップリーグとしては日本初の地域密着型クラブチームとして、後援会を始めとする新潟県民の皆様の熱い御支援、御声援を頂きながら、ますます発展を続けています。

さて、迎えた2016年はバスケットボール界にとっては激動の年となります。長きにわたり2リーグ分裂状態であった男子プロリーグが、昨年統合し、新リーグ「Bリーグ」がよいよ開幕いたします。そして「新潟アルビレックスBB」は昨年の皆様からの署名活動等の多大なるご協力を経て、見事1部リーグとしてスタートを迎えることが決定しております。

しかしながら、これから迎える「B1(1部)」は、潤沢な資金を有する企業型プロチームとの対峙を含め、日本一の称号を獲得する上では、更なる高い壁が立ちはだかるという状況であります。

また、日本航空より2011年に譲渡を受け発足した「新潟アルビレックスBBラビッツ」も同様に、潤沢な資金を有する企業チームを相手に奮闘を続けるも、昨シーズンは全敗で最下位という屈辱的な成績に終わりました。

来たる新リーグへ向けて更なる基盤固めが必要な男子チーム、発足から5年、いよいよチーム強化に向けての支援が必要な女子チーム。後援会として、支援体制の見直しを図り、より強固な支援を行う上での好機であると考え次第です。

つきましては、「NIIGATA ALBIREX バスケットボール後援会」の運営にあたり、「会期」「会員カテゴリー」の側面から見直しを図り、より魅力的な会員組織として会員数および会費を増大させ、両チームにこれまで以上の財政支援を行いたいと考えておりますので、趣旨ご賢察頂き、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年4月吉日

NIIGATA ALBIREX バスケットボール後援会
会長 吉田 六左エ門

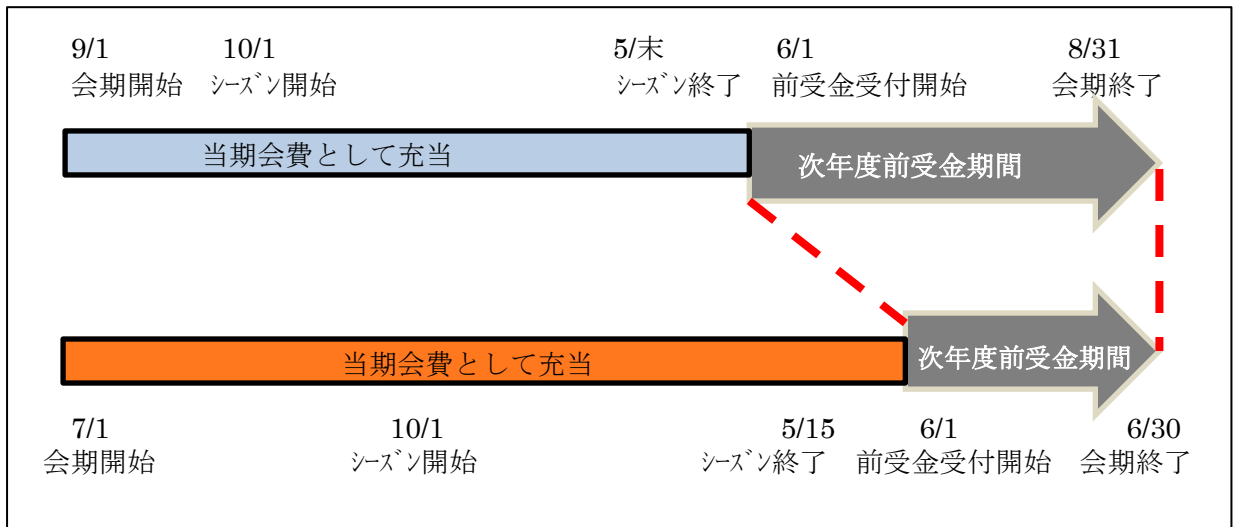
第1号議案

1) 会期

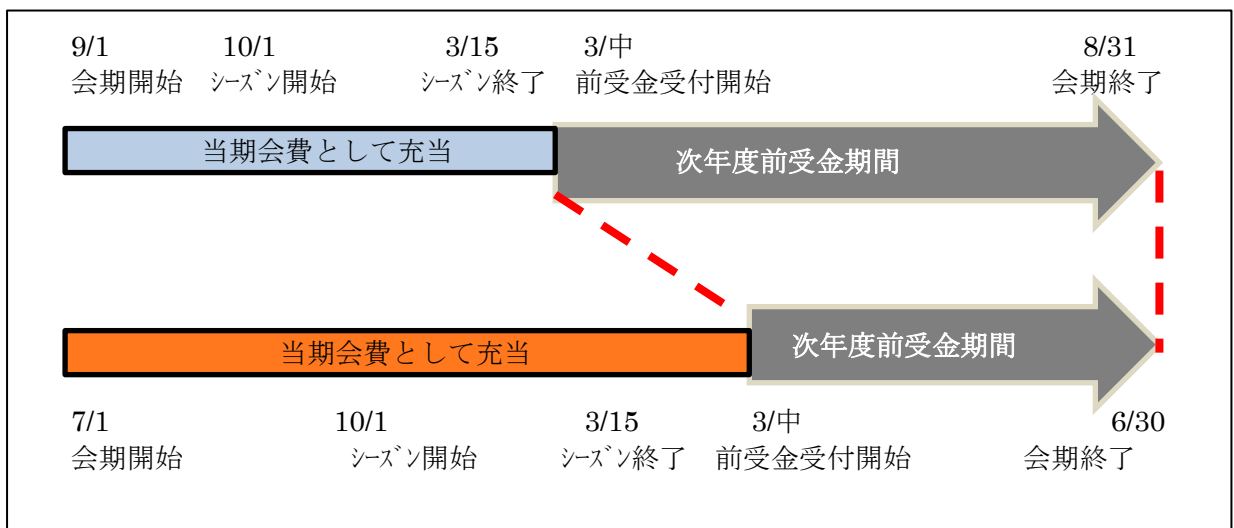
毎年7月1日に始まり翌年6月30日までとする。

主な目的：BリーグおよびWリーグのシーズンに合わせた会期とする。

【男子】 《例：2015-2016 シーズン》



【女子】 《例：2015-2016 シーズン》



会期スタートと会員募集時期が合わさり、スムーズな活動が可能になります。

2) 会員カテゴリー

以下の通りに変更する

	これまでのカテゴリー	会費			新しいカテゴリー	会費
男子	法人会員	30,000	→	男子	プラチナ会員(法人・個人)	50,000
	個人会員	10,000			ゴールド会員(法人・個人)	30,000
	ブースター会員	1,000			オレンジ会員(個人)	10,000
女子	法人会員	30,000	→	女子	プラチナ会員(法人・個人)	50,000
	個人会員	5,000			ゴールド会員(法人・個人)	30,000
	ブースター会員	1,000			オレンジ会員(個人)	10,000

主な目的：・高額カテゴリーの増設による財政支援額の増加

- ・魅力的かつステイタス感を与える会員特典の新設
- ・女子個人会費の増額による財政支援額の増加
- ・男女ブースター会員の発展的解消

※Bリーグからの指導によりファンクラブ組織の設立が義務づけられるため。
後援会組織から切り離し、より広域なブースター獲得を目指す。

■新潟アルビレックスBB【株式会社新潟プロバスケットボール】

プラチナ会員【会費 50,000 円】
会員拡大目標 (案) 50 口 2,500,000 円 (案)

ゴールド会員【会費 30,000 円】
会員拡大目標 (案) 250 口 7,500,000 円 (案)

オレンジ会員【会費 10,000 円】
会員拡大目標 (案) 2,000 口 20,000,000 円 (案)

男子目標予算 (案)
30,000 千円
財政支援目標 (案)
20,000 千円

■新潟アルビレックスBBラビッツ【一般社団法人新潟アルビレックス女子バスケットボールクラブ】

プラチナ会員【会費 50,000 円】
会員拡大目標 (案) 20 口 1,000,000 円 (案)

ゴールド会員【会費 30,000 円】
会員拡大目標 (案) 50 口 1,500,000 円 (案)

オレンジ会員【会費 10,000 円】
会員拡大目標 (案) 500 口 5,000,000 円 (案)

女子目標予算 (案)
6,700 千円
財政支援目標 (案)
5,000 千円